

遊させる役割を担いたいと思っています。

湯河原とは、相模湾のクルーズで連携できないかと考えています。私は今、『海からの熱海』を売っていきたくて、「まち歩き」という言葉がありますが、「海歩き」という言葉があってもいいのかなと思うぐらいです。先日、試験的に海上タクシーを運航したのですが、観光客には大変喜んでいただきました。



『海上タクシー』

富田 昔の話ですが、私が商工会の青年部員時代に、神奈川県各地で「サーフ'90」というイベントがありました。箱根は場所によって富士山が見えるのですが、湯河原は見えないんです。それでも船で沖に出れば見えるだろうということで、イベントを行ったことがあります。そのときに見た海からの町の風景には、違った魅力がありました。

そのときは港を出て遊覧して同じ港に帰って来ただけですが、おっしゃるとおり、違う場所に降りることができれば、さらに魅力あふれるものになると思います。

齊藤 熱海も湯河原と同じで、陸からはほとんど富士山が見えないのですが、初島に行く途中で出てくるんですね。何が良いかというと、街並みの背後に富士山が見えるので、外国人にはとてもアピールになるんです。

山口 箱根は、湖があって山並みの向こうに雪をかぶった富士山があって、これが外国人から見れば「ワンダブル」なんですよね。

齊藤 そういったことから、ちょっと視点を変えればどこにでも、魅力的な資源があるはずなんです。3市8町では、その資源をいかに探すかだと思います。たとえば農家体験と温泉を絡めるなどの観光事業ができて、新たな広域連携が出てくると思います。

山口 熱海と湯河原と箱根が同じ観光地、温泉地ということで、ただライバルということではなくて、ライバル関係にありながら共存共栄、競い合っても



『芦ノ湖から臨む富士山』

目的は一つとして、やっていかないと難しいのかなと思います。そういった意味では、今回の観光圏は意義があると思います。

富田 今、食でいうとB級グルメや地産地消



やまぐちのぶ お
山口昇士
箱根町長

という言葉がありますが、湯河原は「たんたん焼きそば」、熱海は「イカメンチ」と、地域性を生かした「食」の取り組みをしていますね。

山口 箱根は、特に目立った食べ物はありません。主に消費地ですが、足柄の農産物を使ってスイーツを作っています。魚も相模湾の魚と生産地を表示して出す旅館が増えています。

そういう意味では、3市8町の圏域での地産地消だと思います。

齊藤 食は観光地にとっては大切ですが、ごみの問題、特に生ごみがたくさん出ます。これを堆肥として使うと、味の濃いおいしい作物ができると考えて研究しています。熱海にはあまり農地がありませんので、近隣の地域で活用してもらうことになりますが。

富田 確かに生ごみを堆肥にしてリサイクルしていくことは理想ですけども、一つの市町では難しいですね。

山口 少し範囲を広げないとだめですね。そうすると観光圏の中で足柄上郡の農地で使ってもらうとか、圏域の中で処理ができるなど、そういった観光圏にしていくと本当に良いですね。

齊藤 観光圏が単に観光だけにとどまらず、広く「食」や場合によっては「地域おこし」も含めて一つの圏域になるように、今後ともよろしくお願いします。今日はありがとうございました。

富田・山口 ありがとうございました。



たんたん
『たんたん焼きそば』



『イカメンチ』